

第1号様式(第3条関係) その1

産業廃棄物収集運搬業実績報告書(令和5年度)

(特別管理産業廃棄物を除く。)

年 月 日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都国立市矢川3丁目23番地

株式会社リスト

氏名 代表取締役社長 遠藤 重雄

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-571-0010



運搬実績	左記①～③のいずれかの実績	許可番号	13-00-017053
① 東京都内(八王子市除く。) ⇒ 東京都内(八王子市除く。) ② 東京都内(八王子市除く。) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③ 他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く。)	あり なし	担当者電話番号	042-571-0010
担当者氏名	三田 和広		

産業廃棄物の収集運搬受託量 ※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】						コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】												
		百 万	十 万	千	百	十	少数 点 以下6桁			百 万	十 万	千	百	十	少数 点 以下6桁							
0100	燃え殻					0	●	000000	1300	紙くず					6	●	2	●	967000			
0200	汚泥				6	3	●	709000	1400	木くず					8	●	1	●	365000			
0300	廃油				4	6	●	937000	1500	繊維くず					0	●		●	000000			
0400	廃酸					0	●	635000	1600	動植物性残さ					6	●		●	480000			
0500	廃アルカリ					0	●	261000	1700	動物系固形不要物					0	●		●	000000			
0600	廃プラスチック類				9	3	●	4	912000	1800	動物のふん尿					0	●		●	000000		
0700	ゴムくず					0	●	000000	1900	動物の死体					0	●		●	000000			
0800	金属くず				7	3	●	941000	2000	産業廃棄物を処分するために処 理したもの					0	●		●	000000			
0900	ガラス・コンクリート・陶磁器くず				5	6	●	833000	5000	石綿含有産業廃棄物					0	●		●	000000			
1000	鉱さい					0	●	000000	6100	水銀含有ばいじん等					0	●		●	000000			
1100	がれき類(建設廃材のコンクリートを含む。)					0	●	000000	6200	水銀使用製品産業廃棄物					6	●		●	890000			
1200	ばいじん					0	●	000000		合計				1	●	4	●	3	●	4	●	930000

注1: がれき類などに該当するものであっても、石綿を含有する場合は「5000 石綿含有産業廃棄物」に分類してください。(0100～2000のコードに計上しないでください。)

注2: 金属くず、廃プラスチック類、汚泥などに該当するものであっても、「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」とマニフェストに記載されている場合は、「6100 水銀含有ばいじん等」、「6200 水銀使用製品産業廃棄物」に分類してください。(0100～2000のコードに計上しないでください。)

注3: 「m³」「kg」は、「t」に換算し記入してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	汚泥	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。
コード	0200	⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1 【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	都道府県 又は 八王子市 【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	発生地別の 収集運搬 受託量 【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3		
			具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など) (焼却) () ()		運搬先に〇を記入 (埋立・海洋投入)				【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。	
			百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十			百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁 万 万 千 百 十
	東京都 (八王子市を除く。) ※注2		東京都 (八王子市を除く。) ※注2	63	709000	63	242000			
	八王子市 ※注2		八王子市 ※注2				0	467000		
	埼玉県		埼玉県							
	千葉県		千葉県							
	神奈川県		神奈川県							
	茨城県		茨城県							
	栃木県		栃木県							
	群馬県		群馬県							
	合計		合計	63	709000	63	709000			

※注1: 都内(八王子市を除く。)で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】	東京都へ申請している車両について		【記載例】			
車両の総台数	12	台	車両の最大積載量の総和	36.85	t	2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車(2 t用)2台の場合
車両の最大積載量の総和	12	t	車両の最大積載量の総和	24	t	

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量と比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃アルカリ
コード	0500

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量 【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3						
			具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)				運搬先に○を記入											
			(焼却) () ()				(埋立・海洋投入)											
【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。																		
百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	百十 万 千 百 十 一 十 一 十 一 十 一	
0 261000	0 261000	0 261000	0 261000															
第1号様式(その1)の 該当種類の数量欄へ 転記してください。			東京都(八王子市を除く。) ※注2			東京都(八王子市を除く。) ※注2												
【B】自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)			八王子市 ※注2			八王子市 ※注2												
埼玉県			埼玉県															
千葉県			千葉県															
神奈川県			神奈川県															
茨城県			茨城県															
栃木県			栃木県															
群馬県			群馬県															
合計			合計			合計			合計			合計			合計			
0 261000			0 261000			0 261000												

※注1: 都内(八王子市を除く。)で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	【記載例】	2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車(2 t用)2台の場合
車両の総台数	12 台	車両の最大積載量の総和	36.85 t
車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	0600	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量 【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	中間処理業者へ運搬したもの					最終処分業者へ運搬したもの					積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
			具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)					運搬先に○を記入						
			焼却					(埋立・海洋投入)						
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。														
百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁		百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁	百十 万方万千百十一 少数点 以下6桁
9 3 4 912000	東京都 (八王子市を除く。) ※注2	7 4 0 290000	東京都 (八王子市を除く。) ※注2	9 3 4 912000										
	八王子市 ※注2	1 9 4 622000	八王子市 ※注2											
	埼玉県		埼玉県											
	千葉県		千葉県											
	神奈川県		神奈川県											
	茨城県		茨城県											
	栃木県		栃木県											
	群馬県		群馬県											
	合計	9 3 4 912000	合計	9 3 4 912000										

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	【記載例】	2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合
車両の総台数	12 台	車両の最大積載量の総和	36.85 t
車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	2.4 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	紙くず	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。
コード	1300	⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方[B]に記入) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	運搬 先の 都道府 県又は 八王 子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3		
			具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など) (焼却) () () (埋立・海洋投入)						運搬先に○を記入	
			【単位:トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。							
百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百十 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁		
1 6 2 967000	1 5 5 534000	東京都(八王子市を除く。) ※注2	1 6 2 967000							
	7 433000	八王子市 ※注2								
		埼玉県								
		千葉県								
		神奈川県								
		茨城県								
		栃木県								
		群馬県								
運搬量合計 [A]+[B]		合計	1 6 2 967000							

※注1: 都内(八王子市を除く。)で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について	【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車(2 t用)2台の場合
車両の総台数 12 台	車両の最大積載量の総和 36.85 t
車両の総台数 9 台	車両の最大積載量の総和 24 t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	木くず	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	1400	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量 【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3	
			具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)				運搬先に○を記入						
			(焼却) () () ()				(埋立・海洋投入)						
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	東京都 (八王子市を除く。) ※注2	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。										
百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	八王子市 ※注2	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁	百十 万 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁
8 1 365000	八王子市 ※注2	7 1 750000	8 1 365000										
第1号様式(その1)の 該当種類の数量欄へ 転記してください。	埼玉県												
千葉県													
神奈川県													
茨城県													
栃木県													
群馬県													
運搬量合計 【A】+【B】	合計	8 1 365000	8 1 365000										

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	【記載例】	2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合
車両の総台数	12 台	車両の総台数	9 台
車両の最大積載量の総和	36.85 t	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	繊維くず	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	1500	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	運搬先別内訳					中間処理業者へ運搬したもの					最終処分業者へ運搬したもの					積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
			【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算					【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算して数字を記入してください。					【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算して数字を記入してください。						
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 0 290000	東京都 (八王子市を除く。) ※注2	0 000000	焼却																
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 0 290000	八王子市 ※注2	0 290000																	
	埼玉県																		
	千葉県																		
	神奈川県																		
	茨城県																		
	栃木県																		
	群馬県																		
運搬量合計 【A】+【B】 【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 0 290000	合計	0 290000	0 290000																

※注1: 都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について				【記載例】 2tトラック5台、5tトラック2台、塵芥車（2t用）2台の場合							
車両の総台数	12	台	車両の最大積載量の総和	36.85	t	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量と比較し、「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	1600	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの。
自社運搬分は下方[B]に記入)
※注1

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小	少数点
						数	以下6桁
						6	480000

第1号様式（その1）の
該当種類の数量欄へ
転記してください。

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小	少数点
						数	以下6桁

運搬量合計
[A]+[B]

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小	少数点
						数	以下6桁
						6	480000

都道府県又は八王子市	発生地別の収集運搬受託量	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ運搬したもの	再生・売却 ※注3
		具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)				運搬先に○を記入					
東京都(八王子市を除く。) ※注2	1 890000	(焼却) () () ()				(埋立・海洋投入)					
八王子市 ※注2	4 590000										
埼玉県											
千葉県											
神奈川県											
茨城県											
栃木県											
群馬県											
合計	6 480000										

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について	【記載例】 2tトラック5台、5tトラック2台、塵芥車（2t用）2台の場合
車両の総台数 12 台	車両の最大積載量の総和 36.85 t
車両の総台数 9 台	車両の最大積載量の総和 2.4 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	金属くず	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	0800	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量				運搬先 の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3																	
		【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算					【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算				【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算し数字を記入してください。																						
		百	十	千	万		百	十	千	万	百	十	千	万			百	十	千	万	百	十	千	万	百	十	千	万	百	十	千	万	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 7.3 941000	東京都 (八王子市を 除く。) ※注2	7	1			7	3																										
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 2 826000	八王子市 ※注2	2																															
第1号様式(その1)の 該当種類の数量欄へ 転記してください。	埼玉県																																
	千葉県																																
	神奈川県																																
	茨城県																																
	栃木県																																
	群馬県																																
	合計	7	3			7	3																										

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したもののが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について				【記載例】 2tトラック5台、5tトラック2台、塵芥車(2t用)2台の場合			
車両の総台数	12	台		車両の最大積載量の総和	36.85	t	
				車両の総台数	9	台	
				車両の最大積載量の総和	24	t	

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
コード	0900

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの。
自社運搬分は下方[B]に記入)
※注1

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁
		5	6				833000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記してください。

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁

運搬量合計
[A]+[B]

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁

発生地別の 収集運搬 受託量	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
都道府県 又は 八王子市	百十 万 千 百 十 一 小数点 以下6桁
東京都 (八王子市を 除く。) ※注2	5 6 833000
八王子市 ※注2	0 962000
埼玉県	
千葉県	
神奈川県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
合計	5 6 833000

運搬先 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの				積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3																														
	具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など) (破碎) () () ()				運搬先に○を記入 (埋立・海洋投入)																																			
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。																																							
	百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁	百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁	百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁	百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁	百十	万	千	百	十	一	小数点	以下6桁
東京都 (八王子市を 除く。) ※注2																																								
八王子市 ※注2																																								
埼玉県																																								
千葉県																																								
神奈川県																																								
茨城県																																								
栃木県																																								
群馬県																																								
合計																																								

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について				【記載例】 2tトラック5台、5tトラック2台、塵芥車（2t用）2台の場合							
車両の総台数	12	台	車両の最大積載量の総和	36.85	t	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社 リスト	13 - 00 - 0017058
------	----------	-------------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	6200	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方[B]に記入) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	運搬先 の都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
			具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破砕など)		運搬先に○を記入			
			(破砕)	()	()	(埋立・海洋投入)		
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算		【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。					
百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁		百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁	百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁
6 890000	6 544000	東京都 (八王子市を 除く。) ※注2	6 890000					
	0 346000	八王子市 ※注2						
		埼玉県						
		千葉県						
		神奈川県						
		茨城県						
		栃木県						
		群馬県						
		合計	6 890000					

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記してください。

【B】自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁

運搬量合計 【A】+【B】
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百十 少数点 万 万 千 百 十 以下6桁

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について	【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合
車両の総台数 12 台	車両の最大積載量の総和 36.85 t
車両の総台数 9 台	車両の最大積載量の総和 24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

第2号様式（第3条関係）その1

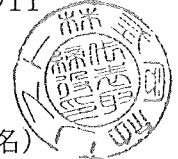
特別管理産業廃棄物収集運搬業実績報告書（令和5年度）

年 月 日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都国立市矢川3丁目23番地の11
株式会社リスト
氏名 代表取締役社長 遠藤 重雄



（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

運搬実績 ①東京都内(八王子市除く。) ⇒ 東京都内(八王子市除く。) ②東京都内(八王子市除く。) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く。)	左記①～③のいずれかの 実績 あり なし	電話番号		
		許可番号 13 — 50 — 017058		
担当者氏名	三田 和広	担当者電話番号	042-571-0010	

特別管理産業廃棄物の収集運搬受託量 ※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】					コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】							
		百 万	十 万	千	百	十 一 小 数 点 以下6桁			百 万	十 万	千	百	十 一 小 数 点 以下6桁			
0350	引火性廃油（6003を除く。）				6	●	061000	6001	燃え殻（有害）				0	●	000000	
0450	強廃酸（6004を除く。）				0	●	069000	6002	汚泥（有害）				0	●	000000	
0550	強廃アルカリ（6005を除く。）				0	●	000000	6003	廃油（有害）				0	●	000000	
2150	感染性産業廃棄物			1	3	●	010000	6004	廃酸（有害）				0	●	000000	
2251	廃ポリ塩化ビフェニル				0	●	000000	6005	廃アルカリ（有害）				0	●	000000	
2252	ポリ塩化ビフェニル汚染物				0	●	000000	6006	鉱さい（有害）				0	●	000000	
2253	ポリ塩化ビフェニル処理物				0	●	000000	6007	ばいじん（有害）				0	●	000000	
2350	廃石綿等				0	●	000000	6008	廃水銀等				0	●	000000	
注：「m ³ 」「kg」は、「t」に換算し記入してください。							合 計					1	3	6	●	140000

事業者名	株式会社リスト	13	50	017058
------	---------	----	----	--------

この様式（第2号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	引火性廃油
コード	0300

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式（その1）の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方[B]に記入) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	中間処理業者へ運搬したもの												最終処分業者へ運搬したもの												積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
		具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)												運搬先に○を記入													
		(焼却) () () (埋立・海洋投入)																									
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 6 061000	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 4 931000	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 6 061000																									
東京都(八王子市を除く。) ※注2 八王子市 ※注2 埼玉県 千葉県 神奈川県 茨城県 栃木県 群馬県 合計	東京都(八王子市を除く。) ※注2 八王子市 ※注2 埼玉県 千葉県 神奈川県 茨城県 栃木県 群馬県 合計	東京都(八王子市を除く。) ※注2 八王子市 ※注2 埼玉県 千葉県 神奈川県 茨城県 栃木県 群馬県 合計												東京都(八王子市を除く。) ※注2 八王子市 ※注2 埼玉県 千葉県 神奈川県 茨城県 栃木県 群馬県 合計													
第2号様式(その1)の 該当種類の数量欄へ 転記してください。																											
[B] 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社) 【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁																											
運搬量合計 [A]+[B] 【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算 百十 少数点 万 万 千 百 十 一 以下6桁 6 061000																											

※注1： 都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2： 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3： 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について				【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合							
車両の総台数	12	台	車両の最大積載量の総和	36.85	t	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

Table with 2 columns: 産業廃棄物の種類 (Industry waste type) and コード (Code). The first row shows '強酸' (Strong acid) with code '0450'.

Table with 2 columns: 事業者名 (Company name) and 株式会社リスト (List of companies). The value is '株式会社リスト' (Ryosuto Co., Ltd.).

1 3 - 50 - 017058

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬委託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

Main data table with 4 main sections: 発生地別の収集運搬委託量 (Collection/transport commission by origin), 中間処理業者へ運搬したものの具体的な処分方法 (Intermediate processor disposal methods), 最終処分業者へ運搬したものの運搬先 (Final processor destination), and 積替保管施設へ運搬したもの (Transferred to storage). Rows include 東京都 (八王子市を除く。 ※注2), 八王子市 ※注2, 埼玉県, 千葉県, 神奈川県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, and 合計.

第2号様式(その1)の該当種類の数量欄へ転記してください。

【B】自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)

Table for self-transport with 1 column: 数量 (Quantity) in tons/year.

運搬量合計 [A]+[B]

Table for total transport volume with 1 column: 数量 (Quantity) in tons/year.

※注1: 都内(八王子市を除く。)で積み込み又は積み卸したもののが対象です。
※注2: 収集運搬委託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。
※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

Table for confirmation: 【確認欄】 東京都へ申請している車両について and 【記載例】 2tトラック5台、5tトラック2台、塵芥車(2t用)2台の場合. Includes columns for 車両の総台数 (Total number of vehicles) and 車両の最大積載量の総和 (Total maximum load capacity).

Table with 4 columns: 事業者名 (株式会社リスト), 13 - 50 - 017058

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

Table with 2 columns: 産業廃棄物の種類 (独廃アルカリ), コード (0550)

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。自社運搬分は下方[B]に記入) ※注1

Table for [A] collection with columns for units (10,000, 1,000, 100, 10, 1, 0.1, 0.01, 0.001) and values (0, 000000)

第2号様式(その1)の該当種類の数量欄へ転記してください。

[B] 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)

Table for [B] self-collection with columns for units and values (all empty)

運搬量合計 [A]+[B]

Table for total transport volume with columns for units and values (0, 000000)

※注1: 都内(八王子市を除く。)で積み込み又は積み卸したものが対象です。
※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。
※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。

Main data table with columns for collection location (都道府県), intermediate processor, final processor, and disposal method. Includes a large grid for recording volume by region.

Confirmation table with columns: 【確認欄】 (車両の総台数: 12台, 車両の最大積載量の総和: 36.85t) and 【記載例】 (車両の総台数: 9台, 車両の最大積載量の総和: 2.4t)

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社リスト	13 - 50 - 017058
------	---------	------------------

この様式（第2号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物
コード	2150

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式（その1）の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの。
自社運搬分は下方[B]に記入)
※注1

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小数点
万	万	万	千	百	十	以下6桁
			1	3	0	010000

第2号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記してください。

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小数点
万	万	万	千	百	十	以下6桁

運搬量合計
[A]+[B]

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百十	万	千	百	十	一	小数点
万	万	万	千	百	十	以下6桁
			1	3	0	010000

都道府県又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量						
	百十	万	千	百	十	一	小数点
東京都 (八王子市を 除く。) ※注2				6	7		860000
八王子市 ※ 注2				6	2		150000
埼玉県							
千葉県							
神奈川県							
茨城県							
栃木県							
群馬県							
合計				1	3	0	010000

運搬先 の都道府 県又は 八王子 市	中間処理業者へ運搬したもの							最終処分業者へ運搬したもの							積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3																			
	具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)																																		
	(焼却) () () () () () ()							運搬先に○を記入 (埋立・海洋投入)																											
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。																																		
	百十	万	千	百	十	一	小数点	百十	万	千	百	十	一	小数点	百十	万	千	百	十	一	小数点	百十	万	千	百	十	一	小数点	百十	万	千	百	十	一	小数点
東京都 (八王子市を 除く。) ※注2																																			
八王子市 ※ 注2																																			
埼玉県																																			
千葉県																																			
神奈川県																																			
茨城県																																			
栃木県																																			
群馬県																																			
合計																																			

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。
 ※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。
 ※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について	【記載例】 2tトラック5台、5tトラック2台、塵芥車（2t用）2台の場合
車両の総台数 12 台	車両の最大積載量の総和 36.85 t
車両の総台数 9 台	車両の最大積載量の総和 24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。